

CLIO 現地打合せメモ

日時: 7 月 23 日 9:30-10:50 (その後 12:30 まで現地調査)

参加: 鈴木(洋)、鶴見(神岡鉱業)、丸亀(神岡エンジニアリング)

新富、鈴木(敏)、竹本、東、森井、尾上、新谷、三代木、大橋

1. 現状報告

トンネルは 85m 掘削終了。発破直後に入坑したため、詳細は不明。

工事スケジュールは以下のとおり。

7 月中 トンネル掘削

8/6-23 吹付け

8/26-30 床コン

9 月 坑道拡幅工事(残り 90m)

9 月末 隔壁(SK-CLIO 間)撤去

10 月 防塵塗装

2. CLIO スケジュール

2002 年 10,11 月 地物干渉計真空搬入、組立

12 月 真空テスト

2003 年 1,2 月 地物干渉計組立

3 月 地物干渉計試運転

4 月 ~ 地物干渉計観測

秋以降 重力波干渉計常温部分搬入、組立

2004 年度中 重力波干渉計低温部分搬入、組立、試運転

2005 年度 重力波観測

3. 電気設備

SK 配電室から高圧線(6kV)を引き、CLIO 実験室にキュービクル設置。

坑口から SK までの高圧ケーブルは 100mm 角(250A)で現状で 85A を使用。

SK に遮蔽器を設置する(坑内停電 3 時間)。その後は CLIO 電気工事は

SK とは独立(SK を停電させる必要なし)となる。

CLIO 実験室入り口にキュービクル設置し、段階的にトランス増設。

2002 年秋 10kVA、2003 年 20kVA 増設、2004 年 70kVA 増設(冷凍機)。

4. 地震波測定

床コン前(地盤が出ている時期)に地震計を設置して、地震波測定する。
人工地震はトンネル3箇所が発破する(100g か雷管のみ)。8/26,27?

5. その他

防塵塗装は継続課題であるが、全面塗装の方向。

2004 年 3 月に南極から帰ってくる超伝導重力計を坑内に設置する予定。

液体ヘリウム使用に関する安全対策の準備を進める。